令和７年度事業報告書

１．リハビリテーションの振興・調査研究事業

障害者の自立、社会参加、生活の質(QOL)の向上を具体化するための、障害者の保健福祉に関わる研究について、一層の推進を図った。

（１）総合リハビリテーション研究大会の開催等障害者リハビリテーションの振興に関すること
（２）日本障害フォーラム(JDF)への参加と協力
（３）障害者放送協議会への参加と協力
（４）CBID(地域共生社会開発プログラム)の普及

２．国際協力・交流事業の推進

国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)において第 4 次となる「アジア太平洋障害者の十年」(2023-2032)が新たに開始されることとなり ESCAP の活動に対し、アジア太平洋障害フォーラム(APDF)の加盟団体としての JDF と共に協力した。

国連総会で採択されたアジェンダ 2030(2016 年以降の持続可能な開発目標：SDGs)について、障害分野 NGO 連絡会(JANNET)と共に、SDGs の大きな目的である「誰も取り残さない社会」作りのための活動に取り組んだ。

国際リハビリテーション協会(RI)、APDF、JDF、JANNET との連携を密にし、国際協力･交流を促進した。

（１）「アジア太平洋障害者の十年」の推進活動
（２）国際リハビリテーション協会(RI=Rehabilitation International)への参加と事業推進
（３）国際協力・交流プロジェクトの推進
（４）国際研修事業の実施

３．情報収集・提供事業

障害者の自立と社会参加、QOL の向上を図る上で、必要不可欠な情報の入手・コミュニケーションの推進を図った。

（１）障害者の情報活用推進事業
（２）DAISY(Digital Accessible Information System)開発普及推進事業
（３）出版事業等